

---

# 恋愛格差

花咲 甲二郎

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
恋愛格差

【コード】  
N9770A

【作者名】  
花咲 甲二郎

【あらすじ】  
大恋愛の末別れた女性への想いを忘れられない男の葛藤。ショートショート。

あんなに人に惚れたことはなかった。藍子は素朴な雰囲気があり長身で手足が長い。ロングスカートを身にまとった、いにしえの北欧女性を連想させる人だった。手の指が細くそれが繊細さを感じさせた。

終わりは半年という短いものだった。藍子は理由を絶対に言わなかった。別れの言葉を口にしたあと唇を真一文字に結び、その意思が固いことを示していた。自分の気持ちはどうなるのだと僕が叫んだときには一瞬目を大きく見開き、こちらを見たがすぐに元の落ち着いた表情に戻った。それを見て諦めることを決意した。

その後僕は就職し忙しい日々を送り、いつしか心の傷も癒えていった。銀行員になってから十年の月日が流れたが仕事には慣れなかった。残業続きで体調を崩し、一ヶ月間休職したあと退職願を上司に手渡した。

一年後に再就職先を探そうと重い腰を上げたときには三十三歳になっていた。

求人誌に「タクミ・ドット・コム」という名を見つけ、その企業を受けることにした。職種がウェブ管理業務というのが理由だった。この一年パソコンの前に座りサイト閲覧ばかりが日課であった。これといった資格も無くやりたいこともなかった。その仕事は私生活の延長だろうと想像した。

面接と簡単な試験を行なった。採用通知は一週間後に届いた。初日は緊張して何をさせられるのか不安であったが単純作業のためすぐに慣れた。薄給でも食うには困らない。一ヶ月もした頃、社長に気

に入られて自宅に遊びに行くことになった。

大きなマンションの最上階にある社長のリビングは、ハーブの匂いが漂う居心地のいい部屋であった。銀行員時代の癖ですばやく計算すると、一億はいくだろうなと予想できた。ソファアの柔らかさを楽しんでいると、玄関から女性の声が聞こえてきた。

僕は自分の表情が固まるのをこらえた。リビングへ入ってきた藍子はすぐには僕と気づかない。三十キロも増えた体重は顔の形を変えてしまったからだろう。手を首に当てて二重顎を隠した。それが災いしたのか藍子が息を呑むのを視界の端でとらえた。社長がそのやり取りに気づいた様子でお互いの顔を交互に見た。しかし何も言わずにとりとめのない話を始めた。次第に会話が無くなり僕は背中に汗が垂れるのを感じた。もうこんな時間と、藍子がつぶやいたのをきっかけに帰る理由を探した。

視線を合わすことなく玄関を出た。

胸の辺りが痛かった。なぜか貯金残高が頭に浮かぶ。退職願の書き方を思い出しながら手を顎に当てた。ダイエットでも始めようかな。走って駅に向かった。

空気が冷たい。秋が近づいているのを感じた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9770a/>

---

恋愛格差

2011年1月28日14時13分発行